# 国交省と関係14団体が「自動車整備人材確保・育成推進協議会」を設立

自動車整備要員不足の解消に向けて対策、具体案を検討

近年、自動車の安全・環境性能の向上に伴い、整備技術の高度化が重要な課題となる一方で、少子化や車離れなどの影響により自動車整備士を目指す若者が激減し、さらに自動車整備士の高齢化も深刻な問題となっています。このままでは近い将来、自動車整備の要員不足が顕在化するため、国土交通省は自動車関係14団体(下表参照)とともに「自動車整備人材確保・育成推進協議会」を設立し、4月22日に国交省内で初会合が開かれました。

冒頭、田端浩・国交省自動車局長が挨拶に立たれ、「自動車の安全・安心な運行のために、次世代自動車や自動ブレーキなどの技術革新にも対応できる高度な整備技能、知識を持った人材を確保、育成することが一層重要となります。国交省としても、参画団体とともに方向性や具体的な対策を検討し、実行に移していく所存です」と述べられました。

同協議会の設立に先立ち、2013年11月から「自動車整備要員人材不足対策に関する勉強会」が4回開催され参加団体それぞれの業界における対策等について意見交換が行われました。また今年3月に実施された勉強会では、自動車整備業の人材確保に関する対策の枠組みが以下の通りまとめられました。

### 1. 戦略的なリクルート

消防士のようなイメージポスターの作成や、国(支局等)を中心とする産学官連携の学校訪問を通じて、高校生(両親を含む)に対する整備士PR活動を推進します。また、先進的な人材確保・育成の取り組み例を収集し、整備学校入学者数の減少の分析・対策検討など若者の動向調査等も行います。

### 2. 事業・資格の魅力の向上

地方での体験イベントの開催、反響調査や DVDの作成など、小中学生や親が自動車を 身近に感じる環境を構築します。さらに、一 級自動車整備士など資格取得のインセンティ ブの明確化や、シンボルマークの作成および 名札等への明記を奨励することで自動車整備 士の魅力の向上に努めます。

## 3. 労働環境の改善

自動車整備士に対するアンケートの実施で 課題を抽出し、併せて先進的な職場改善の取 り組み例を収集します。また、整備業界に対 し職場環境改善に向けた対策の実施を要請し ます。

### 4. 分業組み合わせの促進

シルバー人材の活用や女性整備士が活躍で きる仕事の分業化、アルバイト・パートなど 短時間労働力の活用を推進します。

#### 5. 女性の活用

女性にも訴求するポスター・チラシを作成し、女性が活躍できる職場の好事例を収集し、 周知に努めます。併せて、就職している女性 整備士からの意見を関連業界で共有し、看護 師等の他業界の取り組み例も調査します。

### 6. 外国人の活用

整備業界における外国人活用状況の調査 や、外国人技能実習制度のニーズ調査および 制度の検討、優秀な留学生の日本での就労に 関する課題調査、対策の検討を進めます。

今後、同協議会は必要に応じて随時開催され、特に1、2、3、5の枠組みを中心に自動車整備の人材確保、育成に向けた対策を検討し、具体的な活動内容も決定するとのことです。自動車整備業界の将来を大きく左右する取り組みだけに、同協議会のこれからの動向を注視する必要があります。

### 自動車整備人材確保・育成推進協議会 構成団体

日本自動車整備振興会連合会	全国自動車大学校・整備専門学校協会
全国自動車短期大学協会	日本自動車販売協会連合会
全国軽自動車協会連合会	日本自動車工業会
日本自動車連盟	日本自動車車体整備協同組合連合会
全国自動車電装品整備商工組合連合会	全国タイヤ商工協同組合連合会
全国オートバイ協同組合連合会	日本中古自動車販売協会連合会
日本自動車輸入組合	日本自動車教育振興財団



# 「人とくるまのテクノロジー展 2014」 開催

# HVからFCV、衝突被害軽減ブレーキから自動運転まで 最先端と近未来の安全・軽量化・低燃費技術が一堂に

現在注目を集めている市販車から、将来を 見据えた研究開発・実験中の事例までを一望 できる「自動車技術展 人とくるまのテクノ ロジー展2014」(主催=自動車技術会)が、 5月21~23日の3日間、パシフィコ横浜 (横浜市西区) で開催されました。

開催23回目となる今回は、国産カーメー カー、部品・素材メーカー、開発用ソフト・ テスト機器メーカーなどの自動車関連企業 から、前回、前々回に続き過去最多となる 491 社が出展しました。小間数も 1,082 小 間に拡大し、過去最多を更新した昨年よりも

さらに16社、96小間増えています。

国産カーメーカーは、近い将来の市販化が 確実視されているFCV(燃料電池車)やハ イブリッドカー、PHVのほか、現行最新モ デルで好評を得ている低燃費技術や予防安全 技術、軽量化技術などを披露しました。また 部品・素材メーカーは、それら技術の一翼を 担う部品や生産工程などを提案しました。

また、"人と社会に優しい先進クルマ技術 ~ 2020年の「モビリティ」「カーロボティ クス」を体験しよう~"をテーマにした主催 者特別企画では、日産リーフをはじめとした 自動運転の実験車両とそのセンシング技術が 披露、実演されました。さらに屋外には超小 型モビリティやハイブリッドカーの試乗コー ナーが設けられ、その静かでスムーズな走り が多くの来場者から注目を集めていました。

今回も自動車業界関係者を中心に、会場内 から人波が絶えることはなく、激変し続ける 自動車業界で今後進むべき道を見出そうと、 真剣な面持ちで展示品を確認する業界関係者 の姿が常に見られました。3日間合計の来場 者数は、昨年より9,268人多い8万7,523 人に達しています。



・ヨタ自動車は、2015 年発売を予定している「FCV コンセプト」 のベアシャシを、パワ・ トレインと補機類の配置、フロア形状まで間近で見られる状態で披露。車両の全長×全 幅×全高は 4,870 × 1,810 × 1,535mm で、完成度は「市販車のシャシとほぼ同じ」(同



本田技研工業は、フロント2モーター・リア1モーターのハイブリッドシステムに、ミッ ドに縦置きされる V6 直噴ツインターボエンジンおよびデュアルクラッチトランスミッ ションを組み合わせた「NSX コンセプト」のパワートレインを公開した



富士重工業は、カラーステレオカメラを用いた新世代の「アイサイト (Ver.3) |、1.61 水 平対向 4 気筒直噴ターボエンジン、高張力鋼板を主要骨格に用いたボディなどを採用し た新型ステーションワゴン「レヴォーグ」のコア技術を紹介



主催者特別企画では、各5個のカメラとレーザースキャナーで周囲の状況を常時検知し、 交通ルールに従った適切な操作を選択する、日産リーフの自動運転実験車両を展示、実 演。歩行者が車両の前に立つと、ステアリングト部が赤く点灯し自動停止した

# NGP 今月のCO。削減量



リサイクル部品利用に伴う削減効果

\*\*NGPをはじめとしたリサイクル部品販売事業12団体は、グリーンボイントクラブを作り、リユース部品、リビルト部品を利用することで達成できたCO2削減量を利用者の皆様にお知らせしています。ご協力ありがとうございます。

NGP 平成26年4月: 6,823t NGP 1月からの累計: 27,4

全12団体 1月からの累計 49,084t

リターナブル梱包材利用に伴う削減効果 \*\*リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO2排出量削減の取り組みです。段<mark>ポール</mark>に代えて、

NGP 平成26年4月:

23.7t NGP 1月からの累計:

# 「NGPエコひろば」新PR戦略スタート

# 「使う選択、使わない選択」のキャッチコピーで自費修理車両の入庫促進をPRします

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合はこのほど、NGPリサイクル部品を積極的にご活用いただいている自動車整備工場および修理工場をカーオーナーにご紹介するWebサイト「NGPエコひろば」(http://www.eco-hiroba.net/)のPR戦略を一新し、それに伴い新しいポスターおよびチラシ、店内設置用の三角すい・のぼりをリニューアルしました。

「使う選択、使わない選択。」のキャッチフレーズが目を引くポスターでは、若い夫婦のカーオーナーが「ねえ いざという時の 保険よ わかってる?」「わかってるよ 小さなキズだから 今回は保険は使わないで リサイクル部品で修理したけど きれいに直ったし かなり安かった」と会話しており、自動車保険等級制度改定により増大している安価かつ高品質な自費修理ニーズに対し、NGPリサイクル部品が有効な解決策になることを示唆する内容になっています。

三つ折りのチラシは、表紙はポスターと共

通イメージとしつつ、キャッチコピーを「リサイクル部品を使う選択。」とし、NGPリサイクル部品の使用をより強く促すものに。その他のページでは「環境に貢献」「安心な品質」「経済的な価格」からなる3つのメリットや、日本損害保険協会による満足度調査結果や、NGPエコひろばに寄せられたカーオーナーの声を詳しく掲載し、整備・修理工場の皆様がカーオーナーにNGPリサイクル部品を提案するツールとしてご活用いただけるものとしました。

さらに店内設置用の三角すい・のぼりは、 Dr.エコのキャラクターと「リサイクル部品 でクルマを直そう!!」のフレーズで、待合ス ペースで納車を待つカーオーナーにリサイク ル部品の存在を強く印象づけます。

この4点セットを整備・修理工場の皆様に、NGP組合員が提供して参ります。お問い合わせは、最寄りのNGP組合員へぜひご用命下さい。



# 東京都足立区「地球環境フェア2014」に出展

# 地域密着型イベントへ積極的に参加し リサイクル部品を一般ユーザーへ 直接アピールします

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合 (長谷川利彦理事長)は、5月31日・6月1日に東京都足立区役所で開催された「地球環境フェア2014」に出展しました。

これは、昨年12月の「エコプロダクツ 2013」で、同組合ブース内での「環境にや さしい自動車リサイクル部品」に関する紙芝 居を観た、足立区環境部環境政策課の職員か ら同フェアへの出展要請を受けたことによる ものです。

今回の環境フェアでは、特設のミニステージで同様にリサイクル部品の紙芝居が披露されたほか、同組合ブースでは廃車買い取りサービス「廃車王」やリサイクル部品活用の優良工場紹介サイト「NGPエコひろば」、被災車両回収を通じた東日本大震災の復興支援活動などをPRしました。

紙芝居を観たという来場客からは「使用済 み自動車をリサイクルする取り組みがあると は知りませんでした。実家で所有する車両のドアがへこんだままなので、その修理にぜひ活用したいと思います」という声が聞かれるなど、主婦や小中学生を中心とした来場客から大きな反響を得ることができました。

同組合の高橋照夫事務局長は、「日頃の業務では一般のユーザーと直接会話する機会はほとんどなく、しかもリサイクル部品の存在を知らない人はまだまだ多いのが実情です。一方、高齢化した世帯などから使用済み車両の処分について相談を受ける機会が多い集合住宅の管理会社から住人向けイベント開催時に『廃車王』の説明をするよう依頼されるなど、オファーは決して少なくありません。こうした地域密着型のイベントには今後も積極的に参加し、リサイクル部品の存在を一般ユーザーに直接伝えていきます」と話しています。



リサイクル部品を紹介する NGP 協同組合の紙芝居は その生産工程を詳しく紹介する高度な内容だが、環境 問題の教育が進んでいる現在の小学生はスムーズに理 解していた



「廃車王」と「NGP エコひろば」ののぼりが目を引く、 NGP 協同組合の出展ブース。自動車リサイクル部品の 存在を初めて知った来場客からは驚きの声が



# NGP組合員かわら版



## 第17回ハイブリッドカーセミナー開催

# 高電圧対策など現場で必須の知識・技術を実車で習得

第17回ハイブリッドカーセミナーが5月 13~14日、静岡県裾野市のあいおいニッセイ同和自動車研究所東富士センターで開催されました。

同セミナーは、ハイブリッドカーやEV、PHVなど、高電圧バッテリーの分解整備を行ううえで、感電事故を防ぐため労働安全衛生法で受講が義務付けられている「低圧電気取扱特別教育」を実施するもので、NGPでは2008年1月より定期的に開催しています。

今回は17名が参加し、トヨタTHS-II やホンダIMAをはじめとしたハイブリッド カーの電気・構造に関する基礎知識と、高電 圧部品の安全かつ適正点検・脱着方法を、座 学および実車を用いた実技で学びました。ま た、万が一感電事故が発生した際の心肺蘇生 法なども、ダミー人形を用いて体得しています。

カースチール(株)の渡辺暢之さんは「今回のセミナーで、ハイブリッドカーは今までの経験で処理することはできない、安易な指示は出せないと感じました。しかし、恐がって作業しない、知らないから手を付けないの

では、自社の安全は確保できてもお客様からの信頼は得られません。素早く必要な知識を取り入れることで、品質や信頼を手に入れることが、今後最も重要になると改めて感じました」と、正しい知識に基づいた作業がお客様からの信頼獲得につながるという気付きを得ています。



## 第8回生産STEP UP研修会を開催

# 車体構造の基礎知識を振り返る絶好の機会

第8回生産STEP UP研修会が5月14~16日、静岡県裾野市のあいおいニッセイ同和自動車研究所東富士センターで開かれました。前日から行われていたハイブリッドカーセミナーと併せて受講した参加者もおり、最先端の技術から基礎知識まで、短期間で多くの経験を得ることができました。

研修では車体構造の基礎知識や、サスペンション・駆動装置といった各種作動装置の特徴と修理の注意点など、実務に直結した内容を実習・座学を通じて学びました。中でもブレーキ装置構造の講義では、受講生が正常時とブレーキアシスト機能を遮断した状態での違いを体験し、「実際にブレーキが利きづらい状態にして走行体験することで、正常な状態にしておくことがいかに大切なのかがよく分かりました」((株)オートパーツ伊地知・

清水賢悟さん)というように、体験を伴った 研修の高い効果がうかがえました。

クレストパーツの有和賢二郎さんは「研修会で学んだことに満足するのではなく、日々勉強して知識を増やし、会社の人にも伝えます」と、今後の学習意欲向上に繋げています。(株)共伸商会の小黒和浩さんは、「様々なパーツを分解し、各部品のチェック方法や保管方法をより具体的に学ぶことが出来たので、今後の生産に活かしていきます」と、意気込みを語りました。

研修で班長を務めた(有)國寅商店の滝本空さんは「これまで良く意味を理解せず機械的に部品テストを行っていた部分があったことが分かりました。今後も品質の良い部品を生産して、クレーム・ゼロに努めます」と、決意を表明しています。



骨格部位を見てボディ構造の鮮明なイメージを持つ



自らエンジンを分解することで、より深い理解を得る

訃報

5月27日、株式会社永田プロダクツ(山形県酒田市)永田則男代表取締役のご尊父で、同社代表取締役会長の、永田行夫様がご逝去されました。 享年83歳。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

### NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209 http://www.ngp.gr.jp/

### 株式会社NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201 http://www.ngp.co.jp/